



安全確保のため整備されたグリーンベルト

問 危険箇所（山口）の把握はどうか、担当を一本化することが望ましいが。

答 通学途中痛ましい事故が相次いでいる。点検を全国一斉に行い、市においても教育委員会が主体となり小学校、PTA、警察、行政、地域が連携し緊急合同点検を実施し対応策を協議した。

問 対応策は。安全指導、見守り強化が必要な箇所は警察等、街頭指導をしていただきたいがどうか。（山口）

答 道路環境整備は予算措置



安全のため設置されたカーブミラー

の上実施していく。更に危険な箇所については警察等に要請していきたい。

「福祉のまち塩尻」をめざして

◆生活保護行政について

問 「ハッシング」、「水際作戦」でなく必要な人が申請、利用できる運用を。（鈴木）

答 最低生活の保障と自立助長のため、適正な受付、給付に努め、相談支援に対応する。

◆年金と生活保護について

問 年金は老後の収入の柱だ。市内の無年金者数は。内、生活保護受給者数は。（中村）

答 正確な統計はないが、将来無年金者になるであろう人を含め、約170人と推計してい

る。内、生活保護受給者は、67名である。

問 年金受給資格の納付期間が25年から10年に短縮される事により、無年金者対策は進む。更に、10年未満の人も追納できる制度が本年10月から始まるが、相談窓口設置等の推進策はどうか。（中村）

答 制度の周知や相談業務に力を入れ、推進を図る。



ファミリースポレクフェスティバル

問 市において年金生活者と生活保護受給者で生活上の逆転現象はあるか。（中村）

答 単身の高齢者の比較で、基礎年金額は6万5千542円、生活保護の生活扶助費は、6万5千110円ではほぼ同額であるが、住宅扶助費、介護保険料、健康保険料、平均的な医療費自己負担分を考慮すると、逆転現象となる。

◆障がい者の自立支援を

問 身障者のグループホームやケアホームがまだ市内にない。整備を進めて地域で暮らせる自立支援を。（宮田）

答 県福祉事業団が松本圏域に設置する予定の施設を市内に誘致できるよう調整中。

◆産み育てられる環境

問 男性の育児休暇取得推進は。（西條）

答 地域と企業が連携した環境づくりに努める。

◆市民みなスポーツ

問 「健康スポーツ都市宣言」の事業施策は。（西條）

答 ウォーキング講座やファミリースポレク等で周知していきたい。

◆指導者の育成支援の状況

問 予算減少の指導者育成支援に予算増額は。（西條）

答 年々減少の予算を見直し、



市民からの年金相談に対応